

# ファイザー「有効率95%」の裏側

## 陽性未確認の発症者を入れると 19% 絶対リスク減少率 (ARR) は 0.67%

ブリティッシュ・メディカル・ジャーナル (BMJ) 副編集長ピーター・ドゥシ氏は1月4日に同誌に発表した自らの意見記事で、ファイザー製新型コロナウイルスワクチンの有効率が95%とされている治療の信憑性や意義に対する懸念を表明した。ファイザーの治験は被験者をプラセボ(偽薬)群と接種群に分けて発症者数を比較した。その結果、プラセボ群で162人、接種群で8人が発症した。その割合が100対5になり発症阻止効果が95%という計算だ。しかし米国食品医薬品局 (FDA) の資料によると、感染が疑われる症状があったが「PCR検査で陽性が未確認

」の被験者3410人が全て除外されていた(内1816人がプラセボ群、1594人が接種群)。これらの発症者を除外せずに計算すると有効率は19%となり、規制当局のワクチン承認基準の50%を下回る。これら発症者の全数が新型コロナウイルスによるかは限らないが、確認にはデータが必要だ。しかし除外された3410人についてはファイザー提出の92ページの報告書でも The New England Journal of Medicine (NEJM) の論文でも、言及すらされていない。また「重要な手順の逸脱を理由として371人のデータが分析から除外されている(内311人が接種群、60人がプラセボ群)」。重要な手順の逸脱の具体的な内容や、接種群でなぜ5倍の人数が除外されたかの理由についても説明は無い。同社CEOは「有効率95%」のニューズが報じられた当日に自社株を売却し、5億9千万円の利益を得たと報じられた。ファイザーは過去は0.67%となる。

に数々の論文不正が発覚している。絶対リスク減少率 発症者のみを比較

## 「皆がそう言うから」真実ですか？

## メディア官民総動員「コロナ禍」劇場

交通事故でも「コロナ死」 WHOは昨年、ウイルスが確認されないうちも疑わしい症状の患者が死亡した場合は新型コロナウイルスによる死亡と扱

WHOは90年代前半にフィリピン、メキシコ、ニカラグア等で破傷風ワクチンの接種を監督した。破傷風に罹患する3分の2は男性で、破傷風ワクチンは一度の接種で10年持つにも関わらず、対象は14~45歳の女性に限られ3年で5回の接種を求められた。接種直後に不正出血や流産が多発し怪しんだ現地の科学者達はワクチンの中にhCGを、接種者の体内にhCGに対する抗体を発見した。hCGは妊娠を維持するのに必要なホルモンである。BBCもこの事実を放送したが、WHOは否認している。

日本で11~14歳を中心に45歳までの女性を対象に推奨されたHPVワクチンは、接種後に全身の疼痛、不随意運動、知覚・運動障害、記憶・学習障害などが多発したため2013年に積極的勧奨が中止されたが、それらの副反応の原因はワクチンではないと科学的に証明されたとして積極的勧奨の再開を求める動きが現在活発化している。しかしその「科学的証明」とは、製薬会社提供のデータを信頼性の意味なくそのまま利用した欧州医薬品庁 (EMA) の研究や、接種推進を公言する学者が追跡調査不可能な無記名アンケートを取り、集計後に後出しジャンケンのように年齢調整という名目で数値を操作した「名古屋スタディ」だった。このような信頼性に欠ける集計を「科学的」として副反応被害者を反ワクチン活動家だと中傷してきたのが木下喬弘氏、峰宗太郎氏等だが、彼らが今度新型コロナワクチンが有効で安全だと「科学的に」認められたとして世論を主導し大臣にも助言している。峰氏は、ワクチン推進のために特効薬を抑圧した疑いを持たれているファウチ博士が所長を務めるNIAIDの研究員だという。

### ワクチンの汚れた歴史



ファイザー社元副社長兼CSO・イードン博士の告発動画はYouTubeから削除された。

公認すれば数千ドルを提供する」との申し出があったと動画で暴露、動画は後に削除された。WHOが昨年5月にヒル&ノールトン・ストラテジー社に資金を提供してインフルエンザを抑制していた事が米国外国代理人登録法に基づき文書からわかった。同社は湾岸戦争時に世論を関戦容認に導いた「ナイラ証言」を捏造した事で知られる。特効薬を抑圧

が結論することを懸念して偽証した事実も判明。このため同紙は同研究所からの新型コロナウィルス漏洩説を陰謀論と批判した昨年2月の記事を訂正した。ファイザー社長はウイルスの感染力や毒性を高める機能獲得研究がワクチン開発のために必要だと主張してきたが、2014年にそれが米国で禁止されると武漢ウイルス研究所に間接的に資金を提供し、コウモリを宿主とするコロナウイルスに新たな機能を加える研究を委託。同研究所で行った遺伝子操作でウイルスが人体へ侵入するための特定の進入路が開かれたが、まさにその進入路を新型コロナウィルスが利用しておりこの技術を使う事で新型コロナウィルスを作ることが可能だ。FOXニュースのタック・カールソン氏は番組で「衝撃的なのはファイザー自身が彼が対策を任されていたままにそのパンデミックに関与していた事だ」と語った。コロナ流行開始直前の昨年10月、ジョン・ホプキンス健康安全保障センターがビル&メリンダ・ゲイツ財団と世界経済フォーラムと共にイベントを1と題する会議を開催し、架空のコロナウイルスによるパンデミックへの対応を卓上演習した。ファイザー社長はゲイツ財団の指導者会議の名を連ねている。

## わるおぬしも悪よのう



漫画：片岡ジョージ (@oekaki George) 著書「コロナは概念☆プランデミック」で人気を博した4コマ漫画家。

うよう通知。また新型コロナウイルスと診断すると病院に給付金が支給される各国で特に「コロナ」を問わずコロナ死と数えらるるに達した。米国で13万件のインフル

の超過死亡はマイナスで肺炎による死亡も減少。一方過剰な感染対策の結果若年者や女性で自殺が大幅に増加した。それでも大手メディアは感染の恐怖だけを大きく報じた。エボラ怖いの？ 日本で新型コロナは無症状者の入院報告や外出自粛要請も加わり指定感染症として1類以上の扱いとなった。1類のエボラ出血熱の致死率は9割、新型コロナの日本での致死率は2%弱である。また病床逼迫が大きいと報じられる一方、政府は以前からの計画に基づき病床削減を進めている。

「パンデミック」ワシントンポスト紙が情報公開法を通じて入手したファウチ所長の昨年3~4月のメールによれば、新型コロナウイルスにHIVと同一ゲノムを含むタンパク質が挿入されていると発表したインド人科学者の論文を言いつくし方法をファウチ所長は相談していた。また彼が新型コロナが武漢ウイルス研究所で生まれたと世間

検閲と情報統制 ツイッターやYouTubeはワクチン接種促進に不都合な投稿を削除している。フェイスブックもAIで密かに接種者を検閲し

また多くの有名人が自ら接種した写真を投稿して接種を呼びかけたが、米国のファッショニストインフルエンサー Whitney Rife氏は「接種する姿をSNSで

は一件のパンデミックに對し一つの治療法に限定されるため、もしHCCが許可されればワクチンの緊急使用許可は無かった。ワクチンの緊急使用許可後の今年1月に初めて医学誌やフェイスブックには「HCCは新型コロナに有効」と認めた。新型コロナの重症化を防ぐにはヒタミンドと亜鉛が有効とする査読付き論文を発表したジョセフ・マコーラ医師は、命に対する脅迫を受けてホームページから論文を削除した準備された